

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

子どもが主役 自ら考える「学び」と「居場所づくり」事業

事業の経過・背景・課題

本市では、不登校となる児童生徒数が、全国や京都府全体と比較して近年高い出現率となっており、その対応のため教育と福祉の連携による「福知山市型多様な学びアクションプラン」を推進している。

しかし、不登校児童生徒の中には、「けやき広場」、別室登校といった教室以外の「学びの場」や教育相談機関につながれておらず、見通しが持てないケースや不登校が長期化しているケースがあった。

児童生徒にとっての学びの場や居場所として、学校・けやき広場・家庭以外の、一人一人の状況に応じた多様な選択肢が必要であることから、家庭への寄り添い支援を担当する市長部局の子ども政策室と保健福祉の専門職（社会福祉士・保健師等）、教育委員会で構成する不登校支援連携チームを発足した。

さらに、教育機会確保法に基づく多様な学びの機会を保障するため、本市の多様な学びの場・居場所の核となる「公設フリースクールの設置」に向け、検討を重ねてきた。

取組内容

交付実績額： 7,786 千円

多様な学び、安心できる居場所「SIROらぼ」の確保

- ・学校に行けないが家以外の場所で過ごしたい子どもや、自宅から出にくい子ども向けに、学びの保障や社会体験の機会となる居場所を福知山駅周辺に設置。
- ・家庭から第一歩を踏み出そうとする子どもが、安心して自分らしく過ごす中で、人と関わるたのしさを経験したり、じっくり話を聴いて受け止めてもらえる経験を積み重ね、次のステップへ向かい、それぞれの社会的自立につなげていく。
- ・多様な学び推進連携チーム（不登校支援連携チーム）で関わる子どもに、子ども政策室の相談員から声かけを行い、希望に応じて時間を決めて利用できる。（予約制）
- ・決められたプログラムはなく、利用希望する子どもが何をしたいか一緒に考えながら活動を実施
- ・支援員と1対1の活動や2～3人での小グループで活動することができる。

【主な活動】

- ①ボードゲームやオセロ、トランプ、ジエンガなどの遊び
- ②クッキング、カバン作りなどの実習
- ③教科学習など子どもたちが興味を示す学び、体験活動
- ④月1回の休日個別相談会及び保護者同士の交流会開催



事業の成果・今後の展望等

今まで家の外にほぼ出ていない子どもたちが、家から一歩踏み出し、安心して過ごすことができる場所で心に充電し、次のステップに向かうための居場所となっている。

当初の想定を上回り、定期利用や新規利用が増えていく中で、子どもの内面へのアセスメントや発達的な視点で関わる専門人材の確保や、子どもたち一人一人のニーズに応じて小集団でフリーで活動できるスペースと自分一人でゆっくりと過ごせるスペースを確保する必要性が見えてきた。

令和5年度から3年間のモデル事業として居場所を運営する中で、子どもの声や思いを引き出し、今後の多様な学びの方向性を模索し、形にしていく。

問い合わせ先

福知山市教育委員会学校教育課（0773-48-9520）